

一般社団法人中部圏イノベーション推進機構 設立趣旨書

世界ではIoTやAI、ロボティクス技術の加速度的な進展に伴い、社会・産業構造の大転換期が訪れている。デジタル技術革新や新素材の登場は、あらゆる産業を巻き込みながら市場の変革を起こし、産業の垣根を打ち崩している。このようなグローバルレベルの大きな流れが席卷している中で、日本はIT(情報技術)革命から約20年間にわたりGDPの伸びは低迷し、産業競争力が低下、世界のビジネスモデルの変化から取り残されている。さらに、国内において急速に進む少子高齢化・人口減少を踏まえると、わが国は、産業の生産性を飛躍的に高めていかなくてはならない状況に直面している。

これらの課題の解決に向けて、中部圏が引き続き成長力を維持していくためには、社会構造の転換を的確に捉え、これまでの成功にとらわれることなく、自ら進むべき道を考え行動を起こしていく必要がある。そのため、中部圏の産業は、強みであるものづくりの基盤を活かしながら、デジタル技術革新への対応を進めるとともに、絶え間ないイノベーションを通して革新的なソリューションを創出し続けなければならない。

そこで、今般、我々は、中部圏のイノベーションを触発し続けるため、起業や新規事業の創出に取り組む方、イノベーション全般に関与する大学・研究機関・支援機関・公的機関の方などが相互に連携し、共創等による新事業・新産業の創出を図るための場を提供するとともに、中部圏におけるイノベーションの活性化および持続的な成長・発展に寄与することを目的として「一般社団法人中部圏イノベーション推進機構」を設立する。

2019年5月14日

一般社団法人中部圏イノベーション推進機構
会長 豊田 鐵郎